

2025 大阪・関西万博推進特別委員会を傍聴する

昨日 4 日 13 時から行われた写真の委員会が大阪市会で行われた。所要時間 190 分と長丁場だったが、市役所で場所を変え作業しながら視聴した。委員会審議を通して視聴するのは、それだけ夢洲での万博開催を懸念しているからだ。

議題は「2025 年日本国際博覧会の推進について」。事務局の説明のあと、質疑が 165 分にわたって展開された。委員の持ち時間は維新 65 分、公明 30 分、自民 30 分、自民くらし 20 分、共産 20 分である。各会派の万博に対するスタンス、主張が発言に反映していて、興味深かった。



発言のなかでとくに注目した点だけ、いくつか紹介していこう。

維新の委員は、万博は大阪の成長戦略にとって重要だと強調する一方で、コスト増や交通、環境問題など懸念も表明した。地下鉄延伸をはじめ全体で 129 億円のコスト増について、その理由を質問して、一層のコスト削減を求めた。舞洲や桜島の駐車場整備は、地元から不安の声が出ている。IR 用地で問題になっている土壌汚染は、万博会場では大丈夫なのかと問う。理事者側からは、汚染された用地を舗装するので健康被害はない、建設土砂は夢洲内で処分、仮設建築物なので液状化対策は必要ないといった回答であった。この点は共産委員の質問にも、まったく同じ回答であった。

委員会名	2025 大阪・関西万博推進特別委員会
開会予定時刻	午後 1 時
議席/モニター	7 階 特別委員会室 / P1 併席者控室
議題	○ 2025 年日本国際博覧会の推進について
説明	2 6 分
質疑	1 6 5 分
質疑等	
くらしと障がい委員(維新)	15 分
古見みさこ委員(維新)	5 分
阪中一成委員(維新)	18 分
大内啓治委員(維新)	30 分
山口根朝委員(公明党)	10 分
中田光一郎委員(公明党)	20 分
有本純子委員(自民)	15 分
多摩分枝委員(自民)	15 分
北本幹男委員(自民くらし)	20 分
山内千恵子委員(共産党)	20 分

公明の委員は、会場建設費は 1850 億円にアップしたが、これ以上の増額はないかと質問して、理事者側はこれが上限であると博覧会協会から聞いている。大屋根やパビリオンの設計などについて質問。

自民の委員は、2820 万人という想定入場者数について質問。コロナの影響により、見直しは考えないのか。入場者が減ると、運営費が赤字になるのではないかと指摘。市から協会に入場者の検討状況について確かめるといった回答。SDGs の取り組み、万博のレガシー、市の取り組みなどについて質疑。

自民暮らしの委員は、土壌汚染について質問するつもりだったが、万博には影響ないようなのでカットする。パビリオン建設の時期と発注、大阪パビリオンの発注方式などについて質疑。

共産の委員は、万博は問題が多く、今立ち止まる必要がある。万博跡地に IR カジノ用地のように土壌対策をやるというが、万博期間中は大丈夫なのか。市民の関心は低いようだが、こんな夢洲の状況の万博開催について市民アンケートをしてはどうか。

(2022 年 2 月 5 日)